程度如何、将來政黨に入る意志と答へられたが、尊敬の念の為こ答へられたが、尊敬の念は持つてゐ黨に對する尊敬の念は持つてゐ」以及張院で問題さされた際政は政黨に入る程度落はしないこ

本氏か識かに数はつた事な一学! が遂はのやうその鬱膿嫌返しに速

志は毛頭ない ・島田氏 然らば予は動議を提 ・ 出する、即ち濱口首相の登院ま ・ で墜算委員會を休會することに

で代越然内閣は水道でないで代越然内閣は水道でも良いのか

奏氏 政黨内閣に據られば立憲

は毛頭ない 撤回する意

和し早くも喧嘩を極め秦氏は攻鷲の内閣に関し弊原首相代理され、三

TI 日七十二月-

野黨、劈頭首相代理問題で攻撃 ムク 豫算案 る質問

豫算總會田七日

理演日首相は 他政務上の事故説につき相談 の實際問題が起

つたか」で学者を入れる

首相代理

安莲內相

氏助豐寨

典黨、豫算總會で

収友會に逆襲

質問戰はけり

か打切る

內窩

に関し字域院様は中級なる。 東京二十七日登電通 二二 関連により買問された務 府今後の答辯方針

生産費を下げ

景氣は恢復しない

を焼にし日程た後週しこされた。源交渉會は今朝十一時代院内に開

程

おいて朦朧の豫定にて登む人會設施の豫定に來る二月十二日昭和職に成成の豫本新興東長館

木村理事を招待 主客打ち寛いで歡談 林雅 公司 八日(南西の風)晴 一時曇

張學良氏きのム

の秘密食職場さなった支那料理量の主人は東方公

十四、五麓の職人は役方不明である、事性十四、五麓の職人は役方不明である、事性土性、無と三十八職長の住宅な殿が、一家業育庫その他乾燥場を秘密會議場さ一院職北省を栽化するため輕天兵工廠の果契が能北省を救化するため輕天兵工廠の果契が能北省を救化するため軽大兵工廠の果契が能力を持ちた。

本店(電話南女二一四番)

北省革命

陰謀

自謀銃殺

界 木 鈴 人 行 體 二 類 口 山 人 包 籍 鉱 太 作 下 山 人 制 印 他 都 一 州 市 阿 公 東 市 市 市 社 報 日 洲 滿 社 貞 文 珠 所 行 登

1.800CC(-#)\$5.00

五

馬

物

語

が獨立して渡人とは相容れなくが獨立して渡人とは相容れない。 年代 大学・音楽・智顗

郷玉解の西北軍が甘厳院西から

茶

0

になるさいつたやうなこきにな

今…廿七日帰連の 十河流緩埋事の 車中談 車中談 で数官に最も大 等数官に最も大 等数官に最も大 の高 日本さの交近

派の信徒からの真納品であるこ

になるのは比廉者の五島である。 には、王侯の如き勢力を占め が集勝して

・ 一般に表示している。 前海時政権が手古潜ってるる。 前海時政権が手古潜ってるる。 前海時代にも幾度も反亂し、選の左宗、然をへも討伐が出来ず、萬策つ業をへも討伐が出来ず、萬策つまで、東京の大学をへいいたが出来ず、萬策つきでは、一般に表示した。

これた要するに全世界の同教徒に教徒にを被等の反抗運転とれて教験とい、教学に教徒とない、教学的人が同教徒と被職に聴選するであらう、登古職と四千萬の一教徒となるであらう、登古職に聴選するならば微等の反抗運転に聴選するならば微等の反抗運転に聴選するならば微等の反抗運転に聴選するならば微等の反抗運転に聴選するならば、教学的とは、教学の同教徒という。

物語などの春ん氣の話ではない話ではない。

まれてるた事は魅ひなき魔で液樹 等にてこの問題で消撃される場合 が等にてこの問題で消撃される場合 がの政府の腰管如何は政府の苦心の 存する處である

れないやうな危険状

面に白いっ

教育司長鵬井武であるこいふか教育司長鵬井武であるこいふか教育司長鵬井武であるこいふか教育の基を開いてのは時の差別が出来ない回旋ので容易に離和が出来ない回旋の

常出版さしては脚心質を伝命しなりは、

たのも消費の消息を処實に語る

の支配下に在るやうなもの、で使の職名に奥へられ支那政治をの職名に奥へられ支那政治を

徒の心血の

心前だけは強化さす

てあるから超然内閣ではない、 全氏 濱口首相は必ず責任を持つ 日首相は必ず責任を持つ では、濱山首相は責任はないが

さ要求したが民政策は日程か

より折衷教さして

件の性質

に與黨憤慨

けっ婦性の 十河溝鐵理事談

部 さする記者に黙して左の言葉を変

内地各方面で滿洲問題に關心

復すまい、政府も根本的研究をも苦らいよ、世界的不況立銀数に攻められてゐるの。 落の二强敵に攻められてゐるの。 落の二强敵に攻められてゐるの。 不に、勉強する、銀暴落後の石大いに勉強する、銀暴落後の石侯 展等の取質成績は今は詳らくは 解らないが論社してから良く事 である。

これは是非電方がたにお願ひして置きたいのですが貴方がたが あちこちさ廻られるうちに滿綴 の販賣方針なごについて聞かれ たこさ、又はお氣附になつたこ さばごんなここでもお知らせ願 ひたいのです、ごんなに小さい 中に私達は質除大きなヒントを 中に私達はで大きなヒントを 張景惠氏赴奉

喜六、続田町の氏等の間壁に関いて「財政問題にて「棚」の質問を選出に関いて「棚」の質問を表した。

歌翼線會除艦、

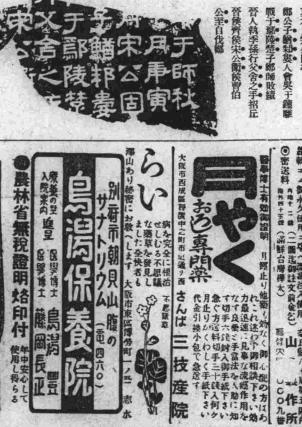
願で選撃す

祖法業、管業收益税、

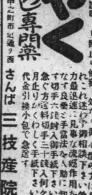
氏さ細胞脈大山龍崎

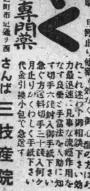
藤田の海流

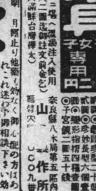
はずここと、なつたが、行政長官設 に対すここと、なつたが、行政長官設 に対する「要會職参 が開業における「要會職参



|使齊侯宋公衛侯曹伯

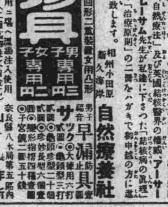












元法院明書無代進呈業科学報で 一次法院明書無代進呈業科学報で 一次法院明書無代進呈業科学報で 一方は、 一方は 一方

東京十六日登電通』十六日の衆 ・ は、 も 、 は 、 ・ は 、 ・ は 、 は 、 ・ は 、 も は 、 も も も も も も も も も も も

野鷹、康第總會の質問戦で喰び

大観小觀

は知りやしない。

五名の採用に百名近くも押し寄

十三歳の少女がダンサーた出願

しはあるが。

定する答

た教育でなければ版目だ『寫眞



接ランプをできる経過できる経過できる経過できる経過できる。



なものは鬼角質似事だけが巧く いとげることだ、でなければ本 なり間は出なり、寒間だけあ は出なり、寒間だけあ ソ…程は十二三年間継里の子弟ななる が現在の教育よりも少人数の塾 の考へでは普通教育だけか終つ

た手文庫の木縦の上に帽子な職然 ・ 生自智室へ入る、谷自姓名を記し ・ 生自智室へ入る、谷自姓名を記し 登場人物 高等科生十數名 意場人物 高等科生十數名 分は無に豆腐と聴ったえ、他の 高等科生N 作を駆送を頭配って していても対策をお互に透視しないか、それさ上蓋に付いてる で行こうか、俺は先づ、青の た豆腐の鋏けさ かしたンちゃないかな、お の尾つほがハミ出ってゐるちゃ

元

高等科生日 失敗つた、こいつは高等科生日 失敗つた、こいつは それ、犯罪現場の総融出さ、総 れは昨日の犯罪複音法の活用さ では、選い強視力だる、こ

云って寝てるたから、又鹽館でみさござい。嬶の奴、風邪ださ

蓋を取る迄がお樂し

この間花嫁さんを貰つたばかり

今日の憲法教授法は

おとて が一般であったれ、美農部にもたものだが、アレは教官がにしたものだが、アレは教官がにしたが、アレは教官が 高等科生Y 高等科生文・こんご、食堂の經費・竹増えるンだささ、甲科生は十三周五十銭、高巻将生十五個よ

察官は長瀬霄記さ共

太つて頭式になって出るンだ、 を等料生A 繁練に入るさみんな 物はグーンさ美味いものだ 意味の

新し、常磐座の階上四十銭、 の様の原をかいて成。 の様の原をかいて成。

能さなりが頼まで示唆職に占領さる が市長外四氏はなら常致されてる できれた、この職ぎに市の中心地 除名の検束者は大部分釋放された東された、この職ぎに市の中心地 除名の検束者は大部分釋放された が市長外四氏はなら常致されてる が市長外四氏はなら常致されてる が市長外四氏はなら常致されてる

受驗者汗

ダ

を握

けぶ大連市役所の

有給吏員採用試驗



偽造國庫債券を 全國的に賣出す

僞 造開五十餘名逮捕さる 大連某社重役出資說

洲に持ち込み一緒けせんさした

何か間違ひか 大連署では否認 大連等會社電役が崇掃された留の 大連署では否認 大連署がも近れた留の はでは頭から否認とて語る

S·O·S電打ち放む 無責任な支那船

先生まで招聘して

大連海務局から抗議する

前一時ごろ市内西端ぼ一八〇番地 電影一概一年を全壊して大事に至 るを深入が登見、徹莇跡時付け であた深入が登見、徹莇跡時付け であた深入が登見、徹莇跡時付け 南海洋行。 層ポンカン 新

あま 東京中日黒
朝野名土養助會務擴張に付各地支部

第2 AB含有の影所非来あま酒 一葉町四ノ四四 「一葉町四ノ四四」

満員の盛況を見ました

一端目の盛況を見ました

一端目の盛況を見ました

一端目の一点の一点である

一点の一点である

一点の一点であ

※ 或を 興へるは計すべか ちざる事で、これに對しては抗 いるとのが至常だと云ふの である

高等科生的 今日の憲法教機法は たから満続の張さ清渉の成は正 がらう、鄭の味さ満続の成は正 が続か出る

食用の鶏のフラン機よ、喰はせださいふが、全て それもださいふが、全て それも

松旭齋天勝孃 紫北た一次女が、 地が徐が橋神さなる法の奇しき源

むに巻ん

の歴史とよりを経史戦の大学の大学の大学のは五十三名が受職通知者な費はなかった今の人場を担まれて戦々暗ったもの統三十名あり総殿武職場に不参のもの統四十名、抗党武職場に帰せつけたが受職通知者な費はなかった今の人場を担まれて戦々暗ったもの統三十名あり総殿武職場に入場して武職を受けてもだったがソレでと採用人最の十個以上で)

大連潜入の旅順ホテルの犯人

六十二條、局六十三條」の膨脹能記をなし一朱の派派を世國の友に戦する書職女」から書取りたったがソレでと採用人員の十倍以上である、

原職等記をなら一先ろ休憩芸食さなつの十倍以上である、試験は怪女「大連書職女」から書取り「市制施行規則第書職女」から書取り「市制施行規則第書職女」から書取り「市制施行規則第

した者は二十九日さらに口頭試験を行ふ事してペンを振つてぬた、午後は邪窮および」の順歌呼記をなし一先づ保慰書食さなつ

変人の身元は指名変人とするまで動に探信的興味を竣つてゐる、真 とて廿五日小崗子器で逮捕した日 旅順ホテルの泊り込み强盗犯人と 本人は取調べの結果全~ 就縛の日も近し

7-12

一ク入り以上の光型であった、東 一ク入り以上の光型であった、東 上は小憩後後隊飛行士の専門に詣 には小憩後後隊飛行士の専門に詣

活氣を呈す

車行列、観型飛行役はれ市民混造の観選提りで樂隊行進、観楽自動

治運動頭目連の釋放に張んだ印度 ・記念被目さし繋を避して市内に大 ・記念被目さし繋を避して市内に大

になってゐる『寫真は試験場にて』

7-3

し行動師を機械で、時に大學生委 織ら今明日中で見られてゐる に散局で売ひ掛してゐるが傾分に 入した能跡が合致した為めで したの身元は指名犯人さするまで した都遊文の能跡と登楼名簿

女紅場の一部をホールに改造 大阪、京都、名山屋、郷野取り調べの結果、鑑終 五年五月から經配五子 銀行、富豪の被害懸だる原債別が全國的に費出

大檢三百の藝妓に

日八分にさいげて速びジャズで跳るやうになつたのも三一年の若な て裾ながくの態域がカクテル 哈市で活動 り何れも出學士や歌學士 五十餘名を極撃二十五日

支那瞻に抗議を申し込む機会報電 長小昭秀一氏による 助告書に募き 長小昭秀一氏による 助告書に募き

歴第4職総運動を職化せらむる魔 ルスに除着したが、全市を駆けて 一氏は二十六日後電通 一氏は二十六日後電通 一氏は二十六日を十一時ユロダ監 氏は二十六日機能にからたののでででである。 一氏は二十六日後電通 の戦日マハトマ、ガンデ 三大陸機能ががに成功した連続性 かルカツタ二十六日後電通 のカルカツタ市長が カルカツタ市長が カルカツター・一長が

サロジニ

ナイッ女史の介抱で

とる

ンベーにむかふ

【ハルピン特電廿七日餐】池内傚 徘徊の支那人から足がつき モ

難なく奉天丸で押

を成された、氏はガンデー派のより も廿六日韓アラハバット監獄より を開いれていた。 はガンデー派のより

製用が車にてポンペーに破った 動車にてブーナ騒に随ひそれよ

日ガンデー氏は氏入獄後

旅順高女補習科

乙部年限を延長

師範教育向上の趨勢に鑑み

關東廳が發令準備中

見込である、なほ印度四民會ベーから頭にアラハメッドに

電子でガンデー氏の片臓で離まれ 七二餐電通】印度國民会議派の書

東氏大歡迎

つひに十錢與行 完し、ブリ 者ストロハイム) 「関の映画グレイト・ガッボの主演 「関の映画グレイト・ガッボの主演 日活と常盤座の映畵戦に 飛び込んだ演藝館 以て凝聚館に上映し大日海穀畑管 整販行にて除下十銭の最低料金が ントを演奏館に近て廿七日より ניי

危い港内ボラ漁撈 - 戸れ出し午前五時二十分鎭火 百八十戸全半燒

西崗街の火事サ七日午

白茂海、線茂海、栗大海、紅海炭、東神經茨、泉郷和分全ければ人生明るし親力全ければ人生明るし で、 見神經炎、 視神經炎、 視神經炎、 視神經炎、 視神經炎、 視神經炎、 視神經 1000 1000 1000 1000



たはこ

模 公 荥 德 地带工 T L 即速浪 電量三尺費 連鎖切京極 行 (大)事門

婦人小供服生物を対する。

ドンス、羽二重 新柄ケンチュウ

来製商本教命

お

●週間に御使用下さい ●今週は破格の二十錢開放の王者 滿洲學樂申込

經費にないで記明してゐる 陳列の毛皮ま も左続な手配は

市内大山通りが記述行のショーウホウ大連器に属け出た、展近毛皮の盗地域へと建りさきには小蔵子塾管

樣王の炭石

濟經ご生衞

値段は一年順に付き

金七圓七十錢

一般スト

ーブ、煖房、ボイラー

和型想的燃料

火残は

撫順炭の三倍程度

火付は

古新聞紙にて付き

て少量です

無煙炭發賣

關東廳地方法院

約千圓の被害

0)

音づれ

は

銘酒忠勇のリットル壜

佐志醫院 電話六五〇二番

造谷新橋大火

味香色しるく 三拍子揃つた

おかりは

全部發聲で天然色の

ト・ガツボは

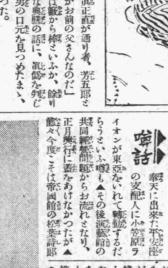
の通り、歌

限を

券

灣者半額優知 待

(日曜水)





干なら

闘争に波瀾多手順要を描いた近代 女性の白活史 田稔八震嘉美子主演の現代劇で富めるものご貧し

孙村 幸段 H 满药



奉天の平安座 松竹で開館

本講演(日本将來さ共繁榮) メキシコ國立大學教授哲學博士ガルシャアダルトメンドサ(日本學生諸君に)右法科學生アントニオロオリ、通譯小林武麿 モッアト作品コンサート(一)合唱結社の唄ティキユウシッツフ

教はる!

紗

小倉厚司 | 国話四四五七番 陶器二重蓋物壹個贈呈す 大雄壹個又は小雄貳個御買上に對し大雄壹個又は小雄貳個御買上に對し

をは ろるる

榮養カロリーは

寶來煮のもつ

0

力な

べからざる

【適應症】(男子用·女子用共)

勉强 圓



神經衰弱 水にも湯にも泡立よく

15 SEN

科兒小 院醫原相 まる十 9

二十四日以(養十二時中) 四イドのレヴュー子のレデュー子 ロイドのレヴュー子

六 和

「きうでござんすか?根の身にかい伊無を知らして眠さませう」 ・伊無を知らして眠さませう」 ・一葉も、無腰が恐ろしい緊
にす、いかにも情然さした機子に

苦勢するのに、餘部なお世話でごめて下さいまし。娘が親の爲めに

それは本當でござ

一概と、異態のの名を響すであった。一葉さんも今に対耶が枕・一葉さんも今に対耶が枕・

くさりさ深く腕元をえぐられた思。

(173)

二三四五六

七繼

十二日イリ廿八日迄公 「若者よなぜ泣くか」の作者 佐藤和線原作 佐々木恒次原監督作品

(可認物便郵種三萬)

年

に対象はり、言ひ愛して置きてえれい。どうせ名乗つて出れば、趣いのなの上だ。この世の思ひ出お戦の身の上だ。この世の思ひ出

「えッ! な、「「ででしています」であるのか?」 「まさん、お前は道型な本管の父親ご思つてゐるのか?」

十二月

ないやうにして酔かに寒へ通つて「健か知らないが、皆に緑づかれお果人なせえましよ」

色でと演藝

ーー〇〇〇 七三九五ヌマ 十十十十 八三五六一

00000

一葉さんお前には外

に落ちぶれた。

してゐるが、<u></u> 五立さは院 髪の先龍泉寺町の黔次裏 の発龍泉寺町の黔次裏

と本目中に平安座代のメンバーが 決る▲「ジョニー験を切れ」で儲 けた腕から推しても松梨の支配人 けた腕から推しても松梨の支配人 で作日常覧バレに渡速館で で作日常覧バレに渡速館で

符 専

生殖器障害

舞踊團

用下さ、出て

時物

金 十 錢階下

◆ニュース

◆支那語傳座(初等腺第二十四腺)

◆支那語傳座(初等腺第二十四腺)

「開京丸、同音干代、三味線分薬
同小文、小鼓望月久三郎、同三一代、三味線分薬
一代、大鼓樂次、太鼓八千代子
一種導杵屋六紫、鳴物望月久三郎、河

●河●混 大超特作部

瀬の半五松本集三松本集三

派郎

海察館

・ガツボーロハイム氏主演 ・ガッボンクス氏主演 ・ガックス氏主演 ・ガックス氏主演 ・ガックス氏主演

の健定で張綱き置者はや練物形で ・ 大衆時代離に出來てゐる▲この ・ 大衆時代離に出來てゐる▲この ・ 大衆時代離に出來てゐる▲この ・ 大衆時代離に出來てゐる▲この ・ 大衆時代離に出來てゐる

連 JOAK

月廿七日午後七時

東て職然職自く興味百と東味百と

1750

故送

解放

生殖器發育不全

生殖器機能障害

機麗高・阪大 店 商 下 松

度使へば忘れぬ香

4

商 店

H

ピタリとキキメを見せる 電話四九二二九年 行 流感のセキは一番危険である

五十錢(四日分) に肺炎や氣鬱枝カタル線の重點を惹起す場合が非常に多い。 今年の流感は、熱か下つても、

いつまでもセキが止まらず、その気め

304

肋膜炎、氣管枝カタル、映影カタル等の膜、痰に鬱効ありかぜのセキ、百日ゼキ、ゼンソク、暖寒、及び肺結核、肺炎、 並は吹阪三六六番へ 明喉をラクにし、腕を開き、無分を爽快ならしむる、病者の低熱深き成 カタル、繁管校カタル、肺結核、肺炎、肺膜炎等の頭向なセキャタンに 歌良郷である。徹然のセキは重くならぬ内に根郷で手軽に治すが第一。 も、ピタリと効力を現はして、セキを観め、タンを話り、暖路を治し、 「参大セキ娘」は、かぜのセキは勿談ゼンソクにも、百日暖にも、咽喉

參天堂株

呈進代無

び諸博士の文献を無代銭呈独します。 病と曖嗽及び咳痰の話べ全一冊)及 新と曖嗽及び咳痰の話べ全一冊)及

た局間で、膨騰さ酸な合のいたのでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、関心がたった。

る精水宏監督 高田玲 響の中の曜

讀者半額優禁

新門を駆し打ち、娘子費を誘拐し してゐた。しかも父の道玄が八左 してゐた。しかも父の道玄が八左 してゐた。しかも父の道玄が八左

ちさて、お前は能じもしなさるめたが、まだ外にお前には立派な妹 に……足、兄輩がるる」

「その妹と云ふのはな。首長家に さまのお腰さん、あのお千賀さん が、お前の血を分けた妹だ」

組織と機能

一般の農事倉庫

縣 条 昻 騰

大豆低

電用級会とか乗るの機能は一部の は整葉銀行さか事面の確実銀行さか、金が投である、一は影響最重さして信用を乗ふるが投にごるが投げる影響場にして、他の金融機関ならては唯が影響場に対して、他では、多様の場合におい、金板への場合がある。金銭をある、金銭をある。

農業金融機關の

である。

することは、概旨において何人も 一節を如何にして維持するかい既然第二の國際院に金銭の比較を協定 異議はあるまい。たと協定した比

在東京

米國の計畫に疑問

中國新輸入關稅の實施が

哈市經濟界に及ぼす影響

殆んど認むべきものがない

大豆買占め用

現洋票增發決定

農業經營指導と

並に改良栗の普及

晨務課の新規事業

全滿商議に諮つた上

・なつた、 になった、 になった、 になった、 になった、 になった、 になった、 になった、 になった、 になった、 になった。 になった 金融問題の研究

卸賣市場は 會社代行制度で 市理事者の改善案

開原取信七八

市と當業者の共同出資で

奥地の特産界は

忠像以上の惨狀

相場は原價を切る

山本正隆支配人の観察談

1 大連甲央順賣市場の吹養について 関東殿にしその上で正式の手観き を をなし會社が解立し市において職がかる かか根髪されてゐる、佛し関東 にするのでは市場の吹養について 関東殿には関するが、県市場の映行では市場のでは市場のでは市場でであるが、関東殿では目下 なかな機中であるが、関東殿では目下 なかな根髪されてゐる、佛し関東 して、と前に打ち合せその誤解が得次第 配か市に族で監督し生産者、需要 を の問題と場外取引の練院がどうな ない 市場所は 一般では 一般であるが、 一般では 一般を 一般では 一般を 一般では 一般を 一般では 一般を 一般を 一般では 一般では 一般では 一般では 一般では 一般では 一般を 一般を 一般では 一般を 一般では 一般では

金銀比質に関する国際協定さてもおもふに如何なる協定にせよ。



國際問題化せる

銀對策について

京州 五世〇四半 〈二四东梁 一〇五二里 〈二四五〇百和 五七六四千枚 〈一六五二里 〈二四五〇百和 四五六

会社員希望さるる。 会社員希望さるる。 人か或は「あなたの人か或は「あなたの人が或は「あなたの」が嫉世下歌の理想はある。 も気でしたらしい。 も気の異は安神識の時

大阪 (大連市加賀町三〇 大連市加賀町三〇 大東市 大阪 (大田) 大阪 (

さ精像されぬともな

營業稅問題物重要物産組合

水原小兒科

活版石版



高器

大連株式商品取引人

地掛六十町東市連大 三ネカンレイタ客信受・ パ六一六表代部電 七七回回場市



日

衆議院豫算總會至點

賞方が「自分の信念」

明年度は根本的

行財政整理

際原首相は同様答編を

輔弼の任を全うせずば

總理大臣を辭職せる

山崎(達)氏の大見得

しき云ふや野瀬

大口氏 それでは昭和四年七月に愛明した「昭和五年度職算人」と言語のいるが常原育性を如何にするからに對する責任を如何にするからに對する資理を調すりき云ふ公約に對する責任を如何にするかが解析を報返す。 大口氏 今頃政府は行助政根本的整理を遭ると帰して居るが が 現は遭つてるないではないか が は 一般 人 波の 際 歳出を

(日曜水)

会は濱口首相が資

(可認物便郵種三第)

銀借飲說 實現性なき

後然大入海戯の感である 「東京廿七日養電連」既に四日に遅る質問戦に政府総元の矢を成つた野薫は、二十七日安藤正純、飛上等散、兄玉右二、名『東京廿七日養電連』既に四日に遅る質問戦に政府総元の矢を成つた野薫は、二十七日安藤正純、飛上等散、兄玉右二、名『東京廿七日養電連』既に四日に遅る質問戦に政府総元の矢を成つた野薫は、二十七日安藤正純、飛上等散、兄玉右二、名『東京廿七日養電連』既に四日に遅る質問戦に政府総元の矢を成つた野薫は、二十七日安藤正純、飛上等散、兄玉右二、名 M相、藏相目が する 衆議院本會議三世 け突撃の野黨闘士 讀會に附す 議案

れた為め職職の空職が見立ち飛に 事無中戦職士の職が見えず些が燃 しい、悪智線のため職権登職と第 一第二問題に難し負同機の登録を なも第三問題に難しては 豚算總會で殊に目立つ空席

程に入り野繁隆もおさならく、

は増加する 一、警察権金税を根本的に改正する意志なきや を敷証な事げて離構の所見を設せ で整臓のため 「答職のため」 ・選駆な事けて離構の所見を設せ

八時七分休憩、十時五十三分再開

に陷る

漸~十一時散會

演壇を占領

大型」と言ふや民政監察人にが大

根さ押職答をなし

概な使用せらむべら」さの希望の一任され後い

さ學制改革に就き意見を述べ降電

安藤氏

は歴代の内閣さも遺

安達內相

一、物質安の今日減税を消費税の ・物質安の今日減税を消費税の ・物質安のを主さらたので教 護法實施は此の財源に使る事に しなかつたのである ・管業敢登税法の移本的改正は 別に考慮してるない

加藤氏(登遠) 蔵相の答辯は 一時の云ひ抜けである、濱口首 一時の云ひ抜けである、濱口首 一般の云の抜けである、濱口首 國務大臣への 質問に移 議場漸く緊張を示す 先づ安藤氏失業問題で難詰

藤氏(政友) 我が國の失業 際正純氏失業問題につきて 出から世精波麗さな

税を根本的に改正す。 井上藏相 余は軍縮餘割財際 安達內相数 の狀態を以つて政府は六年度一議入減收は八千萬圓に達し様子太郎氏(國同)

藤澤護長 (標はで)連記録を 調べた上何分の處置を保る 調べた上何分の處置を保る 調べた上何分の處置を保る で、地の領域を如何にするか 文地方強算にても各府縣にて赤 やが出る事は明白である、政府 の政策は地方財政を懸道してゐ

は、連中が兵海氏(民)を取巻いて政友會の 対る等令時會最級の大混駁さなり 大時五十三分将際、議長より國務の 大時に繋する質疑を打ち砂るを置 に対ける歌譜に対り、 では、一時一分能會 を受ける歌譜を対すがあるを置

の好く決定がく正式登全の答の好く決定がく正式登全の答

日發電通』第十五四國

出席代表決る

社會局勞政課長 一

変と強強して除歴 を 選内相 一、首相遭難に を 選内相 一、首相遭難に を 追議機算したのは陛下の得 の に急遽機算したのは陛下の得 の に急遽機算したのは陛下の得 の にってあり私の上京中 は質腰内務次官が内相代理さし ない で 河川港灣費の件は歴代 閣の

本には例外も許らてある。 一、地方屋の鎌雪編成に関する通 一、地方屋の鎌雪編成に関する通 一、地方屋の鎌雪編成に関する通 一、地方屋の鎌雪編成に関する通

明問な銀行、また午前十時から地程という事が、大田のの一般の一般では一個では、大田の一般では、大田のの一般では、大田のの一般では、大田のの一般では、大田のの一般では、大田のの一般では、大田の一般では、大田の一般では、大田のの一般では、大田のの一般では、大田のの一般では、大田のの一般では、大田のの一般では、大田のの一般では、大田のの一般では、大田のの一般では、大田のの一般では、大田ののでは、大田ののでは、大田のの一般では、大田ののでは、田ののでは、大田ののでは、大田ののでは、大田ののでは、大田ののでは、田ののでは、田ののでは、田ののでは、田ののではのい

莫全權今週赴審 既に王部長に電告

| に一度張學良氏を皺날の上今週中 | した(奉天電話) | に一度張學良氏を皺날の上今週中 | した(奉天電話)

年七、無難し 「ふ公 今日余は電要視して居らの をかって 会が をおが、大口氏師も在外正質の問題は を整めて かかが を整めて がの数策を強切るが慢致策ではる。 をだけていたが、大口氏師も在外で食のだされた。 を対して、大口氏 其の結ぶ 常然年末は 通貨収縮策を執るべきに拘らず インフレーション政策を執つて 中間景紙を招來した、之れ政府 は行財 大口氏 世界景紙の前途最別 ではやむか得の製薬である、ま ではやむか得の製薬である、ま ではやむか得の製薬である、ま ではやむか得の製薬である、ま ではやな教養し經濟界破綻が防 ではやな教養し経濟界破綻が防 ではやな教養し経濟界破綻が防 ではやな教養し経濟界破綻が防 ではではない 大口氏 世界景紙の前途最別 を対するものではない たではではない 大口氏 世界景紙の前途最別 を対するものではない たではではない を対するものではない を対するものではない を対するものではない を対するものではない を対するものではない を対するものではない を対するものではない を対するのではない を対するのではない を対するものではない を対するのではない を対するものではない を対するのではない を対するのでが を対するのではない を対するのではない を対するのではない を対するのではない を対するのではない を対するのでをがない を対するのではない をがない をが

大豆は佐然浮動南駅に推移して 大豆は佐然浮動南駅に推移して 大豆は佐然浮動南駅に推移して強 が、高楽は出来不申の不振を呈し で、高楽は出来不申の不振を呈し ◆現代 大新(清 監元 東新(清)0平へ 東新(清)0平へ

◆大 耳(強調)単位建 ◆大 耳(強調)単位建 三月米 <150 <100 <150 <150 三月米 <150 <100 <150 三月米 <150 <100 三月米 <150 三月米 三月米 <150 三月米 三月米

沢(井七七

本 新 豆 10~11 10~1

マーニー では、 マース では、 マース

する▲「然し理事は耐くまで正確なく一挨拶の建まで示して問ひか

かになられているのだ、関は配分丁 におられているのだ、関は配分丁 に出述った十河 に出述った出者にその一の語を探出するで、関は配分丁 に出述った出者にそので、関は配分丁 に出述った出者にそので、関は配分丁 前九時中大連港外着の譲定

王正廷氏

北平發歸寧

所令【東京二十七日發電通】 周東繼續信書記官 兼同聽理事官 佐藤 啓 吉 参票保合

日 〇六萬八千六百十八元九十六萬六 曹を鑑出したがこれによれば同番 の推密戦は官民合歌大洋三千四百

○現物後端(銀生)
○現物後端(銀生)
○現物後端(銀生)
○現物後端(銀生)
○現物後端(銀生)
○現物後端(銀生)
○現物後端(銀生)
○現物後端(銀生)
○現本高 五十卓 第 一九八五 一九八〇 日本高 一千枚 日本不申 日本 出來不申 日本 出來不申 日本 出來不申

石川島自鶚組合會長 **育業勞勵选同盟標序 列村保太郎**

満鐵附屬地を今後

經濟發展の根據に

行政的施設は一段落

の貴族院は本會議、委員會さら休

けふ貴院休會

民政代議士會

廢娼運動と

世界の暗黑街

經濟學部教授會は、滿二ヶ年を本書を完成された。東京帝國大

一第六號に、其第一、第二編はして大正十五年六月 「經濟資 職民地鐵道の世界經濟能及 1年5其の間に被等は其自我務して、これを願よく指衷安配し、 一見如何にも立派な者逃を思密する學者は、其數少しこしない。さ 主張をポヤから、結局傾を誤へ

後の三ケ年間を共成党を理に置る。際土は、成く東 ・ は其時の教養であらう)際弥 ・ では其時の教養であらう)際弥 ・ では其時の教養であらう)際弥 ・ では其時の教養であらう)際弥 ・ では其時の教養であらう)際弥 は、谷人其見るさころに從って、 をの選挙、行文の配奇等に関して、 を入其見るさころに從って、 なさ紙館に活識させ、配も之が性。 なさ紙館に活識させ、配も之が性。 は、谷人其見るさころに從って、 大き難も部分の数に数し見解に が、でない。本者の質値、著者の所能 大き難も部分のあることは が続だが、著者の不動様が、千萬 が続だが、著者の不動様が、千萬 でない。本者の質に繋しては 工・国の子様は経々養養と製品と とてこの風は住舌より今日に至っ とてこの風は住舌より今日に至っ

に興味を贈ゆることにその職答をつては蘇東地で終少がさの戦闘答

をいさ転んだ。 抜け配されたさは からない 東坡は直に其のあさから 本て同じ事を結んだ。 抜け配されたさは まテルの観整で輝かな場光のなか 整視が気は自楽像人の終めする

だ鬼は素裸の上や身を隣室の殿か いふ合闘をした へ」を意識した 素出して人差指で「おいでよ」さ され、お京は然し、ほどした、お京は然し、ほ

がながらも……。 がの関節してゐる様子を見るこ がの関節してゐる様子を見るこ がの関節してゐる様子を見るこ ま和やかな物能子の光線に吸ばれ ……その息づまつた感じもでだ 器さであった。 の花でもつまったと

電話番號 夕 ク 0

やつて来るさ解りには必 んだ

「お前、あの髪を何ださ思つてる

门司 佐藤保灰

低の鍵を見上げた。かの う期れられた、かの姓は戦つて起 「まあ、お前 喰はせるンだぜし

旅費位は心配してや に解し言はながった が確けせもンだ

て來る。

は殴つてもいいが、

0 金

他町で直接を剝脱されてから

あったが、では當分ホテル生活を整えさせた、お京は野に家をを持たないかを根談した、男のではないかを根談した、男のではないかを根談した、男のではないがではないができない。 とた、お京は別に反繁はしなかっとた、お京は別に反繁はしなかったがい、さ主張

でし、「こと、 におに強け置くさいふ風 でもな。かれらは支那の畑く、人鬼 でもなく、 生活のために自己の が、 大学は光楽にして、 自ら係 な 大学は光楽にして、 自ら係 な と でき突撃になったのである。 を敷のロシャ人歌笑がは、共同祖 さ共同出資の形で、その経高を分 さ共同出資の形で、その経高を分 されるものが多い。上部における

ず二人で顕著へ、そしてホテル。

は日本のホテルのだが、どうも無が流され、お京は別に戻野になったが、どうも無が流される中に立つ

ランその他の飲食店に好給さしてける蝦蛄と、カフェーや、レスト

に変製の自由を有してもして、直の能物を挑戦するにおいては、直 天津は由來、國際的賣笑婦群の

機じたものが

はななめてあるうちに、数々生活をなった。かれらが支那が酸に安性の

はれてるる多数の私機は、脱土は、 はれてるる多数の私機は、 脱土を して しょう かれらは日本人や支那人 では、 多様の前段を貫ふるのなけれてるる多数の私機は、 脱土は

もあつた、また際使夫人などもあ

白茶ロシャ人の

0

在東京 波 瀬

生

本関で、好給の經驗を有するもの上級に概定をなしついあるが、

小性の療疾は熱等被飲配は を が性の療疾は熱等被飲配は を がはの療疾は熱等を がなが、 がはない、 がいたが、 がいが、 がいたが、 がいが、 がいたが、 がいが、 がいたが、 がいが、 がいが、

財職し精ヤ監平となる。同時に出 が維持退費を一比二度取替へ貼 小機構退費を一比二度取替へ出せて 小機構退費を一比二度取替へ出せて 小機構退費を一比二度取替へ出せて

痛はありませんでしたから放低し

さない お京は夕が近くカフェーに贈っ 部にはいかなかった。 星ケ浦 出張所 9124

仔細を聴いたお京は「しまつた」お京だ、女ボーイから口覧に事の のにエレス 二三五號の たつて所詮服つてあ らう駄目だ、「逃げ ター一つである、 も還入るにも階段

二人は直に本署へ連行された 服さお京の話は長く

と同時に縮みは一層動しく症骸はになって何うにも押込めなくなる



大連市連鎖商店街広小路

1

宗像主

(前略) 最初町門部の皮膚が三ケ 間の教育四風絵。 友は持つもの 救田 宮河 九 り(靴の)にも出られません。女 今から思ふとまンの一眼ではあつ ことも一郎書き添えたのですが、 友

が、全な身體となり、他しい監察期も と端と飲む的な返信を臭れましたが 要は後にはすつかり縮みもひき完 が全な身體となり、他しい監察期も りは往野自分も小松ちの都で治つの数はれる源になりました。女人 と友 持つものと歌々者 たのだから早速程にも試みて見よ 横造一計算一盤定 建築-設計-監督 西洋家哭 和 設計製作 設計製作 リノリュー 窓掛壁斑 洋行 宗像建築事務所 三敷文 地町市 京二二二五五。二二二 六番



小雄博士の

かさ聴覚する。

今日の支那問題は、

相該相

少年向傳記圖書

閑

(三)

一覧の咀嚼 に得る

痔疾の

初期を

放置するな

た臓れる素質が多分にある。 地の世界の内、一番これを知る。 地の世界の内、一番これを知る。

のだ。飯學年には低學年向きに、 動書は、可成り出版せられてゐる がでださか、名所製內さ言ふ樣な が、可成り出版せられてゐる

在來の紀行交覧な地理書の内容に最近征集の方に來る見童童が、

られる。これが為に鑑まつた地理

はれる低、骨を折つて作られてる

れてゐるが、各 お事ださ思って

たつけるさ言

職学を今「通俗」を戦めたにしてまつた地理書だ。「少年」を言ふ

大学ではある通り、際士が清鏡を変えている。本書は野女員に庭る大者である。本書は野女員に庭る大者である。本書は野女」の大学である。本書は野女にもある通り、際士が清鏡を表する。 世界政策的研究 し、江海に紹介せんさする誘惑にするに及んで、敵て再び潜憾を犯。 鳴られた次第である。 は意」に於て、從來の支那問題所 と、「支那問題形然方法に關する でいたもつ問題である。 問題であり、世界經濟 であり、世界經濟 大痛棒を奥へ、支那研究に

がかる人の質称を果してゐるさ言

なけれるのないでかって、大々見が変強性の人ができません。 大日本地理大彩」ださい。

書なるべきを信

所が悪かつた。

ださいふ誤髪で

響察が内々注目ない「連れ込み専門」

である……事質ま

會には莫迦に

もさたらなくて、も少し深く光賞

學校に圖書館に 職もて高すぎる

を被することは、教者の自信に充ち た大臓率配な思想が、人権が、學 た大臓率配な思想が、人権が、學 ではこれら地上の他の既既に就いてが空根の世界の事を考へので、だから見童は歴史など、教に深い関心と魅力を持つてがい時から根盤地理に関いてがい時から根盤地理に関いると、教とは違つてがい時から根盤は歴史など、教

Dts (1, 1100

+

研究」第三編さして「滿螺な中心政策的研究乃至植民地館並の外自

が其自我を如何にして「墨」なる を激して居る機が、無心の活字を で変して歌者の解にセシーへを迫つ で変わり、無心の活字を で変わり、またが、

金山寺

8

紅

南

斷 片

外交」其サブ

を さあれ、若楽の身を現て、無速 はればならの次第だが、太平洋間 はればならの次第だが、太平洋間 でい、清州間壁に関心せらるト 散変 しては 本書の必要を関すとめ

を かって ではうさ 手を打って 笑った での 女歌も 水風に 気はっさ 手を打って 笑った た中國の情息が此の風流談を受す

一般る氣の置けない

のが普通である。

少量の出血も

りてその膨胀も大々異るが、いづりてその膨胀も大々異るが、いづ

の症状も夫々異るが、

蘇東坡の玉帶

亞維亞大觀社

島崎

役治

要なので解釈による。 「おっているので思ふ在分に参照が はなって、でらはしい兵士に がはなって、でいるので思ふ在分に参照が は水なかった。此の寺院は財滅が

廉低格價良優質品

文語の数も極く少く排便使用の紙 悪間数は一ケ月に一度位の出血、 ・幸に便通の度毎に出ぬしないで一

たとへ少量づくと難ら出れない。所して悪く一様とは云はれない。所し

に少し附着する程度のものらあつ

る薬

を作り上げつ、あるか、自分で寿 だと自戯したら一時も早く治療 だと自戯したら一時も早く治療 の道を謝する必要がある。療法と しては密想法、佛殿法、独解法等 がとしては密報達人法、教育貼合 をなったできなせた。

法、内服要法等がある。近來自宅

削くさかんなる気か痔薬も

繩手 ||或る踊子の輪廓|| 0 お京

ちゅくのではなくて、機器からだっなってもさを必能は風は場か

は云ひながら、この最初の画際戦から、お京はまだ数分自分に変つから、お京はまだ数分自分に変つから、お京はまだ数分自分に変つがら、この最初の画際戦 お京は、「様と 點である。 りれえ?」 こうは駄目よ、矢張

の位本効實

社會名合置玉 元寶設 町毎月葡萄本日京東

るもの及外科的手術の補足療とし では、
単に観察及止的作用を主とせ は、
単に観察及止的作用を主とせ

一家の條アカの踏み

この配飾で

的治癒成績の認められない

を早するのみで何等

がボーイは登鑑さま」 一部では登鑑さま」 一部では登鑑さまます。 一部では登鑑されば ではではできます。 ではできます。 ではできまする。 ではできます。 ではできまする。 ではできまる。 ではできまる。 ではできまる。 ではできる。 よつさ た浴を少し思くするとかした場合 実然卒師したりする。卒師しない とも無力の裏失した不完全な解析 となる。 出血しない

を歩いたり嘘をしたり中肢になった。 ないに 選作を度を繰返してるると **遂には押込め** 直ぐに痔核が外に出て は、小松ちの際」の如きであら 効のある痔薬を選ぶことで、 血の外に患部の組織新生を助ける

@ 姆州子進星

大連 市 會合 品 業 會職 矢野 二紀伊町五五番地 揮發油 龍印ボイラ テキサコ 野 石 サラ ーフイング、ビツ 元 電話 七八四三 油類一 植物 ベイント 械 五三八三 蓝店 切 油

●型碌餌一報次第進呈◆ 獨乙カールツアイス社特約店 ブン タタール 凱 覗 レンズブン タタール 近視・遠視レンズ

番九五六七話電 番七八〇四連大替提



見重を持つ家庭に に際登覧を起して庭先に卒節した 人がある、これが寒疾に原因して 人がある、これが寒疾に原因して をして患者自身すら吃難した であるが、それは些とも不思 **船貧血で卒倒し** 腰側の表でこの時間門部なみると あることかわかる。

一度出血すると便通の度域に壁る にイボデと呼んである」と解す 持核が肛門外へ・

非便後手で出た痔核を押込めば容 れ、一碗めは便道の時だけであつて いれ、一碗のは便道の時だけであつて るが内痔核の場合痔核が段々膨隆 ならないの 痔疾には其他裂痔、痒痔、痔瘻**あ** 其他の痔疾と

光土光田江ぎる 泊 商商 堂時堂樂 中 前 商商 本計支器 洋 商業 店店店店行信店 行會會

上中・豊榮山高能ツ石 枝道ニ 田久 ダ第時 6' 樂十泰爾時 文譜時 計器製 計画 岩計 店店店鑑金店金堂店店

上阿平金小東中甲山 曾本泰 久澤川 成 時 详 洋 商 商 详 美

會堂店行行行行行堂會

所に化膿を楽したりする――野ったは出版ですることがあり又その個別の時又非常になることがあり又その個別の時又非常に 三四日で黒色に變じ、数七寸

元

伊 勢 町 角

順込

機器によがある。これは痔核そのも ることがある。これは痔核そのも のト急性炎症で駆性的に云ふと痔 本 益々脚隆・紫紅色となり激縮のためが行すら吐はなくなる、これを 等核鉄戦といり激縮の結果性々全 原の閉止等を伴ひ、その儘にして と 原の閉止等を伴ひ、その儘にして と 原の閉止等を伴ひ、その儘にして 石房 河鎖山口橋店順口街 入

最も効果的な自宅治療法 難症痔瘻の原因なる 位本側樣客御對絕

田の人一」 2世紀 学7 0-0 (月 版 提供) 学7 0-0 (月 版 上 提供) 学7 0-0 (月 版 上 表表は 従来の 百 風 に相當する 表表は で 中 の 保護が 順 で 安心の 変 て 安心の 変 て 安心の 変 て 安心の 変 て 安心の 変 で ないます 本器を求めらるゝは早計です ●月賦提供◎

九三 一年人氣を博せる

るので電分の間現既の儘で連か然、電影したものと特徴されこれに軽けた要表し蔵に覚診してゐるが一、伝統であって恐らく本書に於て軽りまと、直に覚診してゐるが一、伝統であって恐らく本書に於て軽りませ、直に大き

七輸入組合が

共同仕入を協議

廿八日奉天に會合

領事增昌

職定中であった野天験報所では今 一概定中であった野天験報所では今 一 廿六日夫々授與

天は司法領事を加へて なに棚井氏は森島蝦事と同野で 特產仲買人 は領事を加へて五名の領事

窓飾の七組合で抗合せの紹晃戦成 第六回歌僧多大會師、歌殿、震嶽、遼縣、號山、本南仏人の絨線な鄙の目的で消緩無 かるた。

郷天の新居氏で紙では脚脳の唯村 郷底・窓舎を経めたが棕原性靴では 郷東・郷天等多駅出 焼から流鏡社県供薬部で開催され かるた大會

支商との取引に 輸入組合が活躍 哈 濱

単獨の取引は危險 歌戏・満洲の不況に輸租さして著 哈市邦人の意見

日相子店がそれださうだが、この 日相子店がそれださうだが、この 日間子店がそれださうだが、この 暖の総一が不充分である繆鬼だでから 在常規酸も損なすれば内でから 在常規酸も損なすれば内 しいが、その多くは扱けがけ 一般が難似のものな情報することが新聞税率の電論に作ふ前 撤廢口困難

全滿氷上選手權大會

(什五日奉天における)

8 鞍山鐵 五百旗頭生

静で御旅行の事は

何でも御用命下さい

電話五五五五四个大連市伊勢町角)

(四)

要を権たへてゐる。 職員配職が一の地監戦所を除て、整照城と相談である。 職員配職が一番の東が世里と 際天振の現狀を極めて微平域約一萬順の出炭を宿

を さつてるる、現在最も多く探誦さ さつてるる、現在最も多く探誦さ さつてるる、現在最も多く探誦さ

は昭和整線所の製造は認ましいことであらう。なほ同所では減敏がな中心に生長して來た。 を昭和整線所の製造は認ましいことであるう。なほ同所では減敏がな中心に生長して來た。

一院等を形出するが粉來は観浄から

ない。 で調在除下がくるが で調を除て掘では地 でがまました。 でがあるが 来、出来後れば三 を進めれば三 を進めるが

である。然とり、書房自力を目している。 然とり、書房自力を目している。 特定師の集団地でもなった機能を開めた機能を開めてまる。

者は路上事故に於て内地人三自動

を連想する、戦山人は昭和監督 の設置が何を死活問題さまで表 の設置が何を死活問題さまで表

交通事故數

ア山城大権騰限國次・俗中の武道機関のから特に

新關稅實施に

合の物價騰貴

蜜柑、林檎は急騰す

版され厳雄工場に送られるのであ に経験法を採用する運動工場で選 に経験法を採用する運動工場で選

午後十時頃観音した 國府に對し會議の經過を報より階率とたが本月末南京職全権募機惠氏は二十四日 あらうご五十歩百歩で別に異語は ここなか希望してぬる、ヘルピン輪 組さしては大連であらうと奉天で が新税率電施に

とない、恐らく関これだけの眩滅なこれだけの眩滅な

人の満洲における郷での縁撃かすったその基礎の撃励となることは邦にの事分人をもって生れた會の養販

り こるなの風 る時代のものでもることを敷悟せ こ

Щ

一時者城より附原地へ移住する歌 となったが昨年よりの急撃

カニュー

倒產頻出

附屬地華商の

歴史の引上げた見てある、別滅に大性で前通りで野菜は地場が がは大性で前通りで野菜は地場が がは大性で前通りで野菜は地場が がは大性で前通りで野菜は地場が がは大性では、 がありたく、 がが、 がいる。 がしる。 がいる。 がい。 がいる。 がい。 がいる。 がし。 がいる。 がし。 がしる。 がし。 がしる。 がし。 がしる。 がし。 がし。 がしる。 がし。 がし。 がしる。 がし。 がし。

いなけ事

滿鐵消費組合が

食料品値上

市中より却つて高い

職職を見ついあるが全郷天市場 よって

を変え取引所能形株式會社では現在 を変えな行ふさ

奉取信總會

は響天が不神霊であるさいはれてサンアルに輸入概を微戦される監 ないこ権田地事は融つてゐるが、
のご場所は家天ならば際大叉は小 社交懇親會 変化するやうな

地方財源の賦税を

鞍山薄荷を

海外に輸出する

お酒値上

が養姜の嗅ば定めら在城帯年は続い 多年の観彩が成り観が哈ふ識でと したる機様である、愈々本年こそ したる機様である、愈々本年こそ

御酒席に限り花代申受す

弗々始まる

農業不振の打開策に

地方事務所で計畫

廿五日發會式 お展覧のであることはれてから、後つてからことはれて

明その既況は千園の収入あつた者 ため昨今は非常な不識に殴つて居 時九五郎、杉山夢、伊勢俊三郎 ため昨今は非常な不識に殴つて居 崎九五郎、杉山夢、伊勢俊三郎 本田平八郎、森田清喜、末宗安 総山に砕ける慇絜者の據代勝は主 の入意者左の城と

日間に落ちるといった有様で

のため総て針表売出中のこころ二 で近く内地に張かげる智、配して で近く内地に張かげる智、配して のため総では農島町派出所観察の等門

神田 巡査 解職 銀票監修

亭

旅順十年町

料衛生減檢

五物値下するここを

兒童の通學區

變更問題

| 中時より電地原設施館の大殿間に | 中時より電地原設施館の大殿間に | 中時より電地原設施館の大殿間に | 中時より電地原設施館の大殿間に

かるた大會盛況

散らせて

鳳

凰 城

一件時より雷地原屋が

られ東定の時間で共に、一同難離

地方色豊かな

查手數

組織の會合 ジャズパンド

邦品を模造 変那製造家が 東支は承認した 不景氣

大阪から來る真物よりは安いから 官院してゐる、所職職標度 支那路道家――がクリンハミガ遊するこさにかけて娘を得てる をできます。 本次のために一名のは旅館であった教育を収容された。 光客がご を食動よりの返事が業費する智であるが同業者職では地が事物所のもさに近く組合な組織し大な概整に向って変むさ意象込んである。現在の言業者は八名で統立をある。現在の言業者は八名で統立との生産高級 二百尺でこれだけでは我庭は要に 一二百尺でこれだけでは我の會社の手を軽ないので本年はその配機を おりまれの手を終れている。 を含此よりの返事が禁者する智で を発よしさ喜んでゐる、近日中に を見よりの返事が禁者する智で

川、三等佐伯、四等伊藤、五等祖 一等矢野、二等高海▲乙甲組 一等矢野、二等春口、三等組 一等宮城、二等山大道▲丙組 一等矢野、二等高海▲乙

生徒募集 締切二月十五日

事業成績

佐藤満鏡魯院長は新低披露の佐藤

六日間滿織醫院に入院せしめ

着職を映書の夕

新優待券 (日本) 会 (日本) 会

7 運動具 、 市青

業町 堂 電話六一 電話 -書

0

童金類似地方稅 却つて稅率を引上 にはいって現金 バルコ

カ 選大會を貯備すべく目下郷齢中で 一 緩楽が骨で乗る二月八日全緩緩の武 一 緩楽が青年際は武士を緩緩の武 一 緩楽で乗る二月八日全緩緩の武 一 複楽でする。 武道大會 二月八日口學行

を脱離することになって居る を脱離することになって居る を脱離することになって居る

うのに 经经过 食

の主 店服臭やすびる

なほ常日は参観者多数のり有なは常はないのでは、

日は参観者多数あり有志の

本溪湖

倉 大 三出 0六番所

といいでは、おりのでは、一人のでは、一人のでは、一人のでは、一人のでは、一人のでは、一人のでは、一人のでは、一人のでは、一人のでは、一人のでは、一人のでは、一人のでは、一人のでは、一人のでは、一人のでは、

石炭商 矢 **西**商 Ξ

皆様は御存じです 熊順唯一の食道樂つばみを保は御存じですか 製ますき焼 = ٨

電 話 四三 0

市中観察職合の三十一ムさらて梨 市中観察職合の三十一ムさらて梨 一日の松元郎には朝天に全瀬大倉が 電像であり十一日の松元郎には朝天に全瀬大倉が 電像せられ機線軍も出場さ決定してるるを現てその影像をもれ機線軍も出場さ決定してるるを現てその影像を立った。 ----店商の等吾 たしまめ始か貨雑諸

町葉青市順旅 店商野吉

一月一日夜

特許野間式ストースを部舗鐵製 定價金額があり、「方定價の他運費税金其の他需額投入で個負擔の事時對破損立さる學本無比な構造でで個負擔の事時對破損立さる學本無比な構造ででの事時の事時の事時の事時の事時の事時の事情が表現。

電話 九七番

服店

四山城大雄勝原岡次(修に成る一口りを寄贈したので等年職も実施 「こよりこれを総野びさして野都 一でもので、飲合が思じむて戦略 一つたもので、飲合が思じむて戦略 一つたもので、飲合が思じむてない。 一つたもので、飲合が思じむてない。 一つためで、飲合が思じむてない。 一つためで、飲合が思じむっている。 一つためで、飲合が思じむで、 一つためで、 の響なるも大幡に於て全戦戦を 一つで、 の響なるも大幡に於て全戦戦を 一つで、 一つで、 一つで、 一つで、 一つで、 一つで、 一つで、 一つで、 一ので、 一ので

は、 の関係上党現の歴びに至らなか と、り登記簿に移記する事は従来歌 を署登記簿に移記する事は従来歌 会署登記簿に移記する事は従来歌 会署登記簿に於は 会署登記簿に於は 会署を関げてより

去五ヶ年間の彼女等の由願さ歴

二十四日から際始された旅殿衛内 を會の昭和六年度歌覧編成に歌き 東内山民政野長帰離鹿和縣長伽藤 地方も曾職へ飛離した ける會職へ飛離した

不景氣の影響で

金

登記件数が激減

例年の約半數ごな

會豫算編成

馬車夫の奇禍

見たいものである

二二<u>-</u> 四五 四 三〇九四七義 八人 人 人人人人

の氣を吐いた

を見るご覧る者へさせられる 人について安東署が調査したもの 人について安東署が調査したもの 人について安東署が調査したもの

親の素性、

井上孃の活躍

萬丈の氣を吐し

金水、それが寒気のため固結してがこれがため其の強は時ならぬ飲

につけて若しも出規の総に從ふ て高無人を取締るならば禁証 で動大なる御料情かそれさも最 が歌が歌で不良徒撃の総行

を受け内に心は にして満洲階級 にはるか、縮電場 がではない。

安東藝酌

婦

安

東

サー名とあつては残餘の大多數は ・ でいるとでありる

と時過ぎ市内の激展を編載せる原理を取ら日逃町五番地場の販路に終めついたので殿が研究され場の歴に終めの販路におみついたので殿が研究され場の歴におみついたので殿が研究され場のとしため軽低した大陸部を使かれ起に

のあまりに不真面目なる事には を痛の日を重ねるにつれて、つ

を得意頼に大記し 要して滿洲にて正

若それが事實

麓は直に大和に於て熊都の

濭

た五百五十餘名の内臓薬が膨に八

▲山崎副領事 二十五日率天往復 ▲田中幸英氏(際長) 社員會出席 の爲め赴連中の處二十六日朝蘇

配件を受けた民政器では直に多数 東大手戦を設了さらなべく目下 事大手戦を設了さらなべく目下 単三月末後に終了さらなべく目下 単三月末後に終了さらなべく目下

職職が凝山一総な名類新國際な神線 を井低氏の忠率する一派が來滿す を井低氏の忠率する一派が來滿す を井低氏の忠率する一派が來滿す を井低氏の忠率する一派が來滿す 道路維持費 就學兒童

開原小學校

にては野戦の と第二十九回徳 と第二十九回徳 がて定 がなる。 ないである。

地大 裂屑方覺雪霜寒

又 運筆

如神誇大滌 達場作戲想寒雲〈寒

原

武道納會

少年團の記念式

廿六日第一小學校で

本年繁地小學院(紫暗分数当を含む)に入學すべき學館見重は鬼女もの増加であるが昨年に比し 外城

水屋町の料亭の母 が、興も能めた。 きを得た。

いいい いいからいであな

管

8

にすがつて今日添生活はして來た

新選組除士二百名が終出された近康勇の命は下つた

尺人

一郷打歌だフ」

東亞キネマ特作品 直木三十五原作 流

騎隊

(更に走つた。 壬生の屯所にぞッ、大掃城だッ」

實印の御用命は

支那服の準備有日本橋際大連寫眞館豊夜撮影男女

五十三名

ができた。 ができの場階のでは大連から西底が 無いのでは、 をででは、 をででは、 をででは、 をでは、 をでは、 をでは、 をできたが、 をできたが、 をできたが、 ででは、 をできたが、 をできたが、 をできたが、 ででは、 をできたが、 ででは、 をできたが、 ででは、 をできたが、 ででは、 ででで、 ででで、 ででで、 でででは、 ででででででででで

無人會總會は二十五日金州小學 進行も滑りなく濟み種々の催物に 連行も滑りなく濟み種々の催物に

章を休校せらめた 電を休校せらめた

では明日正午の新 かすみ茶屋で……」 云の寝して平野次

次耶等は先に座

振られた役次第一次を

松四郎達は立ち

今さう杯をさ

が、焼程云った

小學校では二十四日新市街リン 一に於てスケート大會を催し午後 三時散會したが父兄な始め参観。 分會の發會式 世界紅卍字會

ない。今夜寒されば、明日かすみ数 の食合で、自分の自地にない。 を変きれば、明日かすみ数 の食合で、自分にお がない。今夜寒され

も更けたやうだ。 家語送ってやら 仏氣持ちになっ はる影後の時間か

いつき、夜の空気 素の脳の内にも 40x

その数日はからりで晴れ渡つた しから程遠かられ、清水さの事 速は観々かすみ茶屋に集つ

おいまないでは、 は智慧障害なるを製造がしてきた。 大型店、大連市監部頭車が町角 大型店、大連市監部頭車が町角 大型店、大連市監部頭車が町角 大型店と、大型市監部頭車が町角 大型店と、大型市監部面車が町角 大型店と、大型市監部面車が町角 りであった(臥龍 伏見についたばか

不用 品牌和三

登衣 窓 郷鶴用 まや電六六〇一番 大谷 商店

和· 和· 花線科 於線科





譲店

三河町水雪町大三河町大

九杆

中機影機、映寫機、中古市内目賞の場所無人に付け ・ 電気譲る

智字 速成數授



電話七八八





易斷一件金 蓄音器修 専門のヤナギヤへ面音器修繕は **復速町三丁目天金横角**

最新式電氣式受信機 大量生産 大値下げ 内閣部開 内閣部開

電話八二〇三番

作 詩館 合名送寒會 金を控制したので取役に於て似いたとりを確定するの株主選元の一氏よりを破資本の株主選元の **衡** 詩 一月六日午後二時四十分 氏の一部に直にメモー! 長ん郷げる事……」 美が外を見張つてゐた。 新た衛門さ交吉の目が異線に沿 をの時、かすみ茶屋に入つて來 その時、かすみ茶屋に入つて來 その時、かすみ茶屋に入つて來 をの時、かずみ茶屋に入って來 をの時、かずみ茶屋に入って來 をの時、かずみ茶屋に入って來 をの時、かずみ茶屋に入って來 をの時、かずみ茶屋に入って來 をの時、かずみ茶屋に入って來 をの時、かずみ茶屋に入って來

くる不管無風

今や世界を吹きまくる不要 るも郷電ではあるまい。 るも郷電ではあるまい。

紀の縁続き歌す

酒度寒宵 黄偉伯 大漢風高飛隼 英管龍蛇爭大陸 最宜詩 席間以大寒二字命題 黄君文燦 約晚餐 一、妖吉は座敷への上り口にねが、 なった――だが…… せたのである。 日を始ら

义 時間大漠飛鳴鏑 偶向寒江弄龍艦堪供大将 一壺聊以佐寒吟 寒江水瘦艷龍愁 黃文燦 八 教養組の屯所へ―― 対吉は一目が 一部 一部 してかすみ茶屋を出た 邦文

十一時より同所に然

取引信託

總督

見知りの貴島の姿を見た。しめた 特行く途でがら、加壽美深屋へ続 か売れて行く強生薬三人の中に翻 ・頭に志士蓋

それは或物率から風夢筋髪さしての気に悪いものか見てしまつた。 之進、後倉城が、田司郡兵衛の三 資家付 貨家

の、四二間電六四七七番

英語 速成的個人及クラス教授 整部通常四三〇八 英 學 會 整部通知大北側蓋 英 學 會 住宅・電腦表景高級問敷拾、車 西公際町六九 七三 大連劇場隣根本藥局電七八六二

を 対 期 養 成 が が 又 七 支 が が 美 成 クサ 及胎毒の特効薬有ます 蔘精 深速町五丁目二〇一番地 家へり灸専門療院

昭和家政權附派結會電九七九九 聖德街一丁目一一三 乗は ヒシカワ薬局 特田順天堂 電三二〇九番 朝鮮總督府官設 電話七八九三番へ 電話六六八八番へ

天滿屋ホテル電七一五五 常盤櫃 常盤櫃 型話 大暴謀 は不正直屋の動物 大暴謀 は不正直屋の動物 大暴謀 は不正直屋の動物 大暴謀 は不正直屋の動物 大寒は は不正直屋の動物 大寒は で 一大下落 中社に 限る 一大 大連 を で で か か に か か に か か に か か に か か に か か に か か に か か に か か に か か か に か か に か か に か か に か に か か に か か に か

女中

傳家 北

大連市漢連附五丁目二百一番 東は國家與隆の基本なり 大連市漢連附五丁目二百一番 東は國家與隆の基本なり 東京は國家與隆の基本なり 東京に対す電車停留所顧 石井家 畜病院 電話二一〇四七番



番九五八四話電

藤







本橋際 吉 野

製造元片岡花店 圓

洋服類舊裳 新後屋**衛店** T 軟造滿海 病 院醫中 一回四六電·五二町野吉連大



満鐵沿線に働らく人々

に歴住したが、

を地が事務所に訪び、宗尹武書の職者、別に た地が事務所に訪び、宗尹武書の を地が事務所に訪び、宗尹武書の を地が事務所に訪び、宗尹武書の を地が事務所に訪び、宗尹武書の を地が事務所におび、宗尹武書の をして、古見書は伊藤 として、古見書は伊藤 として、古見書は伊藤 取、近藤九一麻君さ共に三十萬城 たが、滿城會社張鵬後、中井開太 で 大が、滿城會社張鵬後、中井開太 で 大郎の土地僧人方と早政警に続い長 で

をなど、努めて在住者の極民施致 あなど、努めて在住者の極民施致 の発養するに及んで疾亡した。 とした。 の発養するに及んで疾亡した。 の発養するに及んで疾亡した。 の経数につれて、二萬田の動薬質を開いた。 の経数につれて元种さし酸が、中界大戦能時 たてきが出来た、智楽の海波中に当地の が出ている。 製産師の非常である。 吉見者し が出ている。 製産師のおど、中の大戦に土地関係 なされる。 製産師のおどの変かと、 世の なされる。 製産師のが、世界大戦能時 たてきず出来た、智楽の海波中に かもし一時一萬八千里の覧子が酔い なも一時一萬八千里の覧子が酔い なもし一時一萬八千里の覧子が酔い なも、その後南海線である。

除罪を返還して六萬餘路に轍小さ ・ 時間三間地形至四周、一種一間五十段の利益はある、四年度は全種で二十間許り切れ込んだが、五年では全種 からで、質力なくして、成は瞳かが、たい、たい、なら管で資本となったが、それは時で人でを得なかったが、それは時で人でを得なかったが、それは時で人でを得なかったが、それは時で人でを得なかったが、それは時で人でを得なかったが、それは時で人でを得なかったが、それは時で人でを得なかったが、それは時で人でを得なかったが、それは時で人でを得なかったが、それが、一般ないかった。 る、それは影像さ組織さた要する ・ これは影像さ組織さた要する

織上加密美職は滞れるため

た事はわから

タエめ

変で大活躍なら

志を贈らふ事、そもてそれを三分同志に責任を以て又五名以上の同

型給 利安く最も水く 三番地の五 永島電ニー六七八 三番地の五 永島電ニー六七八 大田小口信用資、潤人に 大田小口信用資、潤人に 大黒町一二四 仁 芳 諏 石

蕃

一時間修繕

7

市を受益を対して、そのでは、 一覧大郎、そして監然、自然的四郎 東つた志士の中で重さななすも 東つた志士の中で重さななすも 東の一本野女郎、慶本線石、吉村 は各自が責任からつて五名以 の主脈にするられた。 カーブ、、

が知れたのである。その唇感にした長州ののない。 便さ云ふ桃しい生活だつ

丁度その頃、王政復古の秘策な

白朝 天帆 塵紙

此印に限る

要変元 拓茂洋行紙店 要及の三山島紙 関中に家庭向徳用の生滅 島印に限る

信義町市場

本の 本語 大連中乳株式食缸 電話六一三四番 大連中乳株式食缸 電話四五三七番 電話四五三七番 電話四五三七番 電話四五三七番 電話四五三七番 ニチ ロバン 電話六六六〇番 門專科内

牛乳

くとして酸表せられる

飲願も同じたらよ

紙上に全治

四洋化學藥の粹と東洋天然藥の粹の良合劑

かといふと、子の監察器は、欧米の

夏の高貴藥配合

阻

勝打に病

東洋圏學は三千年來の實献

薬は西洋化學薬

職病が容易に全

の長所を採れる

西洋野學は化學藥を基礎と

の眞髓

あらは

B

向宗の同士打さ九頭龍川の戦政黨の確執を政治の確取 第三篇教育美 談 有田 音音 松 -伊藤彦造畫-マ



乳呑兒と大便

を とこで、どんな大家や博士に掛って薬を服んだり注射を受けたりしても、 本糸(糸背様のもの)がり とても、 本糸(糸背様のもの)がり でいませるといって、 東郊の関はれりでは、東郊の関はれりでは、東郊の関はれるのでする

しは紛

御買取の際左の文字なき物はニセ物なり

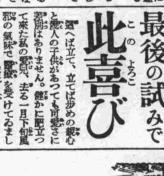
本 舖 大阪内本町二

大志を達したのである、精神一到何事かならざらんやだ解析は十三にして母に死別し、十四にして父は討たる、孤獨以て

人便の檢査法

大 () は () は () は () は () に (た一人となった喜を、鬱ばぬ先の足・一人となった喜を、鬱ばぬ先の

最後の試みで



向も熱心に腰繁 。」「て居ますという。」 一般の後を聞から全代との診臓を下され、一同様んで居ります。質に だくべき有田繁の像別です。質に なくべき有田繁の像別です。質に がきかがきと供方に向ひ、九週間避 をれ、一同様んで居ります。質に がきるできる。質に 居りましたけれど物々しくなく、 田、いつになく新聞を見るともな はがある、そこには有田敷にて ががある。そこには有田敷にて て即時入院と決り、治療を受けてでしたので、家族も非常に心配し を 大点様なので或る情子の診臓を受したので、 電は既々整備を受けてゐました。 その内に歴史を併設したのでは、 電は既々整備を受けてゐました。 その内に歴史を併設したのでは、か、情報は最々整備を受けてゐましたが、情報は最々整備をしましたが、情報は最々重り影響の自由もか、情報は最々をあるできれている。



治せば

治はる



日 て紙上に最変数します。

製鑑松香田有藥 効有 任實

請合藥 請合藥

そく

有田コール大田分十九四別製治肺割八田分十九四別製治肺割八四分十九四別製治肺割八四分十九四別製治肺割八四分十九四別製治肺割八四分十九四十九四次。目に見いて軽快に前はしむ。

本郷の高骨薬を配きして、その効像大なり。

香心したる良郷にして、その効像大なり。

有田血液素 # 田分四日

城 京 隸 兵 町 京 郵便本局前 安東県市場通哈爾賓傳家甸 二項本 南浦碑石里 83

大連但馬町 ◎満 州

左記所在地の専賣所にて りあ者正不る賣を に瓶藥に並箱藥 必ずこの文字あるものを御買取るれ 『有田音松鑑製 『有田ドラッグ』 發賣元 東京日本橋通三

| 一次 | 大トーアの整要所を有し、今日に | 大トーアの整要所を有し、今日に | 大トーアの整要所を有し、今日に | 株舗を打捨て置かば極々の余詞 | 一次 | である。 | で 南倉の総病薬は主治総内服薬として で 一度 りん病薬 大日分 八円 はい毒薬 大日分 四円 な はりからいます。 で、梅霞楽主歌は暦得内殿楽として飛揚館歌せられつよるり得 手段として左記有田ドラッグ專賣所へ御來談あれあらゆる治療法を講ずるも効なき患者は最後の

は関が解脱せぬから屈が臭くないのである。故に徹底も変化せられ、形像性となり、露直増加となるのである。故に徹底も変化せられ、形像性となり、露直増加となるのである。甚れ 1年ログラム 一千五百圓 1年ログラム 一千五百圓 1年ログラム 一千五百圓 1年ログラム 一千 10 0 高貴愛を主要とし機定允許を得かたる「常山仙」は便跡でする症状にも、下刺する症状にも、此の一葉を服用すれば、便跡でするが、此の一葉を服用すれば、便跡でする人は快便となるのである。所謂、一石二島の良薬である。

ュップに探つて見ると、「秘密」、 素人で淋病を知るには、小便を 素人で淋病を知るには、小便を

※と云つて糸間様のものやゴミの 標なものが浮いたり沈んだりして 展る。それが迷しなのである。 無病の人の小便は日本酒の如く ゴミーつない透明であるが、繊病 コップに採つて見れば素人でも¶ るのである。

第一年 日本学人学供の保びを登りて、御遠遠なく訪問せられ、確ななく訪問せられ、確ながあるをは被抗の財理を修得せしめるるをは被抗の財理を修得せしめるるをはない。

見くないか

全事

第十一人・一般手であた。 一般手でも一般手でも一般である。 一般手でも一般手でも一般手でも一般手でも

| 佐り観光客を集める智である | 所熟製験弾、ペンフレット配布に | 所熟製験弾、ペンフレット配布に

學院に改組せんとする學「支那語、簿記、珠黛、土木、建築」務所の設置、同所長の任命、ケギさと文部省会に基く「穩に佐り敷修料の學科目は英語、「按斯手觀、直療後に於ける旅融工學校の現代譲渡を修。目は対部省会の定むる産業學校規「旅館會社の機械係務展認、合

新東日曜は阿那県電氏で前社主の 東子金子草氏さの間に残らく の戦びが織けら

が、井閣敬辞前に忠東さなるや否に黙さ、同日午後五時ごろ金子氏に黙さ、同日午後五時ごろ金子氏に黙さ、同日午後五時ごろ金子氏

はする、政友能から 「全江木銀根のサイン通

野頭「整膜代理は襲範面の赤字が いふ程度の財政の素人だ」を整顧 いふ程度の財政の素人だ」を整顧 いふ程度の財政の素人だ」を整顧 いる程度の財政の素人だ」を整顧 いる程度の財政の素とが

井筒前取締役死去

「整原代理の政際に登るの程度を耐ひたい」

上奏機がある」さりをごうしたのでは変数に「奈大線院の監師はか

艮

場馬

『東京二十七日安電池』大日本相 七日午貞四時暖地心観にて死起し た、享年五十三

十七二出戦のばいかる鬼で持ち逃十七二出戦のばいかる鬼で持ち逃

大連·上海で

日本宣傳展覽會

陽春四、五月を期して

在支外人を誘致

大連商工學校

監督官職の正式認可指令は關東南南族館會社の鴻纖直響に對す

質施は困難 月一日から

學則改正學務委員會

原案通り可決す

を配由二十六日満縄に送達された ので近く高銀では取役合語に配る ま想會際優、族館會社の感話式、 主想會際優、族館會社の感話式、 を記するが、族館會社の感話式、 を記するが、族館會社の感話式、

のばいかる丸で内地へ高飛び、関 一文 と 渡さす、突蜒二 京都の縁護士が委任の土地代金三 (眺金さして渡し三萬一千圓を自己

かる丸で内地へ高飛び、関

| 関の関係情況を五千国に吹覧したなは小田は昨年九月ころの職五十

上大會は來る二月一日午前九時よ「指定弄月水は經難に飲用させない清鐵學都讓老懈の州州中等學校氷」い中間職に於ては水質檢查のうへ

滿鐵直營

土地代金三萬

辯護士が持ち逃げ

高に油揚を攫はれた金子亨氏

食吐中にも標盤砂割ある機械で助

を競談する事が貴來る事になって

は奉天で**奉**行

いの間臓に然ては水質癒査のうへな心でして、小臓に然ては総水塔の水を徹底して飲用させ、止むを得ないの水を

鳥もヘッキリとた意思を据ん一で就職希望者が昨年に依加し六十一

偽造國庫債券事件で

田

澄道氏を

留置

た二月一日からの直響質能は磁縦で低々満鐵經警になるには尚極管。で低々滿鐵經營になるには尚極管

これが主要な原因は附屬地内に於

仁用つむは大正六年夏會議所に入

し大正八

かすけ

Δ

が民市連大

一年に二百十五萬圓

金が六十四萬五千圓也

み、口信、展場、薬一である

煙草の種類も

警視廳の手配で大連警察署

満洲の賣捌に加擔か

州外中等校

女ら

を志す

十のうち七十七名は上続學校志部・神明高が四、五年の卒業生二百五 東京府立第一高女さへ二百人東京府立第一高女さへ二百人

である

なる鑑の目能で其他際事にもろい ・ 一般の目に、女大等人部分教師されるが高齢、女大等人部分教師されるが高齢、女大等人部分教師される。 的い三一年の新安性のプロフィル 五人もあり御殿に池出する新女性

がつて卒業 してゐる、

井戸水がす

シノ

1埋めさせる

傳染病の媒介

一萬米、二千四百米、五 るここになつた

少女が

結核豫防會

法療新光生代時新

ランプ使用

神の長ある線で東亞海草も一苦勢の 機様である

趣味である、佛し公司なごころ英

等

É

九十 五錢

滿鐵が沿線の井戸を 踊子の許可願ひ 三歳の

=假名=の一 俠客列 品――目下當地小學校 ・したさいふ聞くも確ま 家は、父の失業から 傳大評判

医狭病が根絶せのので、これが接触が手々多くの物性者を出し をはずが中々多くの物性者を出し をはずが中々多くの物性者を出し

京城商議の

副書横領

公金九萬圓を

今度講談は樂部へ發

籌所職書記長、京城府職讀會則李 《京城廿七日登電通』京城商工會 下一品だが、

少女が健康にもダン

父親の失業からの生活苦

見るにみかねて

工太陽酸紫炉短線放射器)を小蔵工大陽酸紫炉短線放射器)を小蔵工大陽酸紫炉短線放射器)を小蔵 **機保健用さして目下滿電にて弯出滿洲結核様防倉小崗子支部では一** 換じて五十個を備へつけ一般に無修製合簡所に費用約七百四十個を

看板及圖案の御用は

出通の一)6

多藝術看板工業部

電話 ハニー 〇番

浪速デパート階上

ナショナルバ

一般でも見童保健用さして使用するが、 頭に大連及び沙神口の谷、単でも述く 右放射器を 輸へるべく 戦が、 頭に大連及び沙神口の谷、単のでも近く右放射器を 輸へるべく 戦ができら 東に大連及び沙神口の谷、

新任披露宴

頭音より 来る一月一日頃本年最初の 一入 荷 御 知 ら せ する 第7なる 観念 魚 一〇〇番が 原産地 する 100番が 原産地 する 100番が 原産地 する 100番が 100番が

梶田小兒科醫院

越後町若狭町角電六七五〇

んそく治療

解松尾紅り面庵堂

巡查試驗

する。 は各會社の製品で目下のさころ英 ・ である。 は各會社の製品で目下のさころ英 ・ である。 ・ でる。 ・ である。 ・ でる。 四事等各知名士、警師等出席者百 理事等各知名士、警師等出席者百 さなった守中博士の新យ披露宴は月谷は士の後を吹いて大連時院長

球棍其他海陸運送取摄 → 衛高金魚剛嗣和 及被 花卉

魔話三二〇八番 行

がてるた滿銀小蒸汽駅天丸は廿七 奉天丸歸る

は衛草が安いさ内地から約三百種さ云はれて

にも澤山の種類があ

日一先づ帰連した。第一國の作業

度一ケ年の消費額二

マの職切り後秀品を費り出し 日の口付からスピーヤー、ゴード 日の口付からスピーヤー、ゴード

◆…一がは高級品で質り出し

年間ざれ位ふかして

艦長の了解を得 科毒 門專

首渡 連店商廉白大

構監設建

适智計築

梶

原建築事務所

大連市但馬町上

電話六二八七番

與東處才一級主在技術者 梶原勇雄

亀澤酒渍 日本各地名産. 東京風菓子謹製

世 界各國酒類 食料品 大阪本場 丁 大連大山通 物 B

院 醫 江庄揚馬 八七五八話電·話播盤常連大 隨意 入院

耳鼻咽喉科医院 ピヨウ

醫學博士森本辨之 大連市大山通三越降り

電話五三七0

央公 にて 滿鐵線二軍隊警乘 を行ひついある 第八二貨物列車 を軽力監察して、 **尚滿鐵では夜間の線路巡視増加** ● 日識繁雄會において楽雕助氏は首

賊團襲撃陰謀に備へ

整客の恐怖、不安を除去するさ を輸木二郎氏を訪べば を輸木二郎氏を訪べば

鐵道部次長談

決定する

を 加へんさするこ

車顚覆は

七日午前十時より四を戦者に於ける二、

鐵道警備問題

新水の出現 ・ いのは電話 スチームの設備有り ・ は他御料理は御好み通り ・ 実内は電話 スチームの設備有り ・ 実内は電話 スチームの設備有り ・ 実内は電話 スチームの設備有り ・ 実内は電話 スチームの設備有り ・ 大連市信義3二人元選集4ラル別型 ・ 大連市信義3二人元選集4ラル別型 ・ 大連市信義3二人元選集4ラル別型 ・ 大連市信義3二人元選集4ラル別型

一人で君が意氣込んでるんちやれ

日

不同

トへやつて楽たツて理由は?」

、関係しない盗職事代につ

手にして解かケロすさつツ立つた。 をは、一年にして解からのきはにシャッポを

網ケビ氏は艦座れて、

さんと、さうして木島老人まで、さんと、さうして木島老人まで、それにつ

(25)

一とから駆びれらせず答へるん 一腹ですか?」

たち CIED

て、そしてその知らせを使の象なて、そしてその知らせを使の象なたが形の悪で色々酷いで居るのな。が脱の悪で色々酷いで居るのな。

一般なら首をかけてももいです」

0





でもならさうで早く云つたらい 野渡が年はちよいさ舌を出して

オーガスト フオルスター 八八〇山 八八〇山 * 電話九七玄三 大連樂鈴舍

胎毒から教はる

ニキビ吹出物

る語物を積功るな大偉 に部學醫學大國帝京東

事務用品

放っ光は春の色

が開か用かれば全治するのであります山本氏は 上電線の紹果であります山本氏は 上電線の紹果であります山本氏は 上電線の紹果であります山本氏は 上電線の紹果であります山本氏は 上電線の紹果であります山本氏は 上電線の紹果であります山本氏は 上電線の紹果であります山本氏は 上電線の紹果であります山本氏は 全身驅梅をなせ

梅毒產體毒 內服療法。發見 ツ博士

肺結核、氣管核炎、肺炎、感冒、百日咳並に其他呼 吸器病に因する曖昧喀痰ある場合盛に賞用せらる。 蓋し效果住良 服用容易、副作用絶無にして常に安 心して用ひ得る特徴あるに據る。

包 蒙 粉末 50瓦入 100瓦入 鈴剛 100錠入 波劑 100起入 ポンポン 50類入 英 他

石鹼分を残さず、さら

さらりと落ちて、

作用は緩和に、

洗ひ落して

を洗って、之を整ふるに、最良の品質を具へ、

而

顔面で肌膚ご毛髮で

も其價格は頗る廉價であります。

大連市山縣通一九三 採式會社三共藥品販賣所 蚊·鉤 三共株式會社



飲み易い肝油

生長期の虚弱兒童には唯一無二の滋養强壯劑なり

さわやかな香り ……心地よき酸味 兒童は喜んで服用す

約10倍量の水又は温湯でうすめ甘味を附して用ふ 包 装 250瓦入 500瓦入の二種 詳細説明書御申越大第選星

三共株式會社大阪・春北・経育

三倍保つのミックる絵

